

南の風

—第3号—

6月7日(金)に小学生運動会が開催されました！

小学部

個人種目では、縁日をテーマにバスケ、釣り、的あてのゲームに挑戦しました。特に的あてではボールで的を打ち抜くと大きな歓声が上がりました。

エイサーでは、ビニール製の半被を着て、大きく振りかざしたバチで太鼓を叩いて踊りました。一つ一つの動きを丁寧に表現し、波をイメージしたウエーブも上手にできました。

エアボールでは、各チームがボールを飛ばすかけ声を決め、相談をしながら何処にパスをするのか考えてボールを飛ばしました。得点が拮抗していたので、どの子どもたちも気合が入りよく声が出ていました。コートの中で応援する保護者の熱気も伝わってきました。

玉入れでは、熱気がピークに達し観客席からも大きな歓声がわき子どもたちと一体化しました。

閉会式の結果発表では、白組が優勝しましたが、お互いの健闘を称えて温かい拍手に包まれつつ、小学生運動会が終わりました。



重心部門

6月7日(金)に体育館で小学生運動会がありました。重心部門では、4月から6月の間、運動会の事前学習として、玉入れや魚釣り、『海の声』に合わせて太鼓を叩く授業に取り組みました。約2か月にも及ぶ猛特訓の成果もあり、子どもたちは見事本番でも緊張することなく、自分の力を発揮してくれました！どの種目においても、赤白どちらも一歩も譲らないとてもよい勝負となりました。特に玉入れの一回戦目は、わずか1個差で勝敗が決まり、子どもも教員も大盛り上がり！笑顔いっぱいの楽しい運動会になりました♪



コラム② 「学力」ってなんだろう

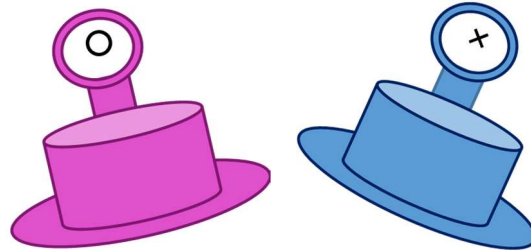
暗算の早い人や、クイズ番組で超難問に素早く答える解答者ってすごいですね。この人たちは学力が高いとあってよいのでしょうか。確かにこの人たちの計算力や知識量には驚かされますが、学校の教科学習ではこれだけで学力が高いとは言えないのです。実は、学校教育法に「学力の三要素」が規定されています。これを受けて、新しい学習指導要領では「資質・能力の三つの柱」として次のように示されています。

学校は、これらの習得、育成、涵養をバランスよく行うことを求められています。

○知識及び技能

○思考力、判断力、表現力等

○学びに向かう力、人間性等



「昭和」の頃は、知識や技能を身につけることが最も大事で、漢字や公式を暗記してテストのときに正確に解答することが求められていました。しかし今では、大学入試で思考力を問う記述式問題を設定する動きがあるように、何かを知っている、覚えている、計算問題ができることだけでなく、習得した知識や技能を活用して、自分の考えをまとめたり、他人の意見を聞いてよりよい解決方法を考えたり、もっと調べてみたいという気持ちを持つことなどが求められているのです。先程の 3 つの観点から「確かな学力」を身につけさせる必要があるのです。

本校の授業場面でも、教科書を読んで覚えたり、繰り返し練習したりするだけでなく、児童・生徒がじっくりと考えを深める場面や、意見を発表し議論する場面が見られるようになっていきます。授業参観の際にはぜひ、“児童・生徒が考えているか”、“自信をもって発表しているか”、“もっと学びたい気持ちが表れているか”という観点からご参観ください。

(文責 教頭 田中宏史)

7月の予定

4日(木) 中学部歯科講話

5日(金) 重心校外学習④ あーすぷらざ

8日(月)～19日(金) 学習発表展(医療センター1階ローソン前渡り廊下にて)

9日(火) 授業参観②、個別面談①

12日(金) 中高生スポーツ大会(9:00～体育館)

16日(火) 高等部模擬投票

19日(金) 終業式(10:00～講堂)

7月20日(土)～8月30日(金) 夏季休業



横浜南養護学校 ホームページ↓↓↓

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/y-minami-sh/> (※平成 31 年 4 月よりアドレスが変更になりました。)